

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								3.4
Q1 室内環境					0.40			3.4
1 音環境				4.3	0.23			4.3
1.1 騒音				-	-			
1.2 遮音				5.0	0.67			
1 開口部遮音性能		遮音等級T-2以上採用		5.0	1.00	3.0		
2 界壁遮音性能				3.0	-	3.0		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0		
1.3 吸音				3.0	0.33	3.0		
2 温熱環境				3.0	0.44			3.0
2.1 室温制御				3.1	0.50			
1 室温				3.0	0.50	3.0		
2 外皮性能		窓:U=2.4 日射が当たらないように庇等を設ける、 外壁 アスロック部分U=0.851 コンクリート部分 U=0.891		4.0	0.17	3.0		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.33			
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0		
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
1 昼光率				3.0	-	3.0		
2 方位別開口						3.0		
3 昼光利用設備				3.0	-	3.0		
3.2 グレア対策								
1 昼光制御				3.0	-	3.0		
3.3 照度				3.0	-	3.0		
3.4 照明制御				3.0	-	3.0		
4 空気質環境				3.4	0.33			3.4
4.1 発生源対策				4.0	0.50			
1 化学汚染物質		F の建築材料をほぼ全面的に採用		4.0	1.00	3.0		
2 アスベスト対策								
4.2 換気				2.0	0.30			
1 換気量				1.0	0.50	3.0		
2 自然換気性能				3.0	-	3.0		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0		
4.3 運用管理				4.0	0.20			
1 CO ₂ の監視		中央監視方式の空調のRAダクトにCO ₂ 濃度センサーを設置		5.0	0.50			
2 喫煙の制御				3.0	0.50			
Q2 サービス性能					0.30			3.3
1 機能性				3.1	0.40			3.1
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40			
1 広さ・収納性				3.0	-	3.0		
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	3.0		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30			
1 広さ感・景観				3.0	-	3.0		
2 リフレッシュスペース				3.0	-			
3 内装計画				3.0	1.00			
1.3 維持管理				3.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		風除室の扉間隔3m以上確保、外部露出の鉄部は亜鉛メッキとする		4.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50			
3 衛生管理業務								
2 耐用性・信頼性				3.5	0.30			3.5
2.1 耐震・免震				3.8	0.50			
1 耐震性		地震力の割増1.25倍		4.0	0.80			
2 免震・制振性能				3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30			
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給湯:SUS(C) 雑排水・汚水管:VP管(B) Eは不使用		5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20			
2.4 信頼性				3.0	0.20			
1 空調・換気設備				3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20			
3 電気設備				3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20			
5 通信・情報設備				3.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.3	0.30	-	-	3.3
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30	-	-	
1 階高のゆとり			3.0	-	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率 = 0.146	4.0	1.00	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.6
1 生物環境の保全と創出		外構緑化指数:52.54% 建物緑化指数:24.72% 大木(ソメイヨシノ)の保存	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		広場や通路を開放し、地域の活動に貢献。屏等を設けず見通しを確保しつつ防犯カメラを設置。	4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		中・高木、ヒロイ等水平投影面積 23.02% 緑被率、水被率、中・高木の水平投影面積31.54%	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.85	4.5	0.20	-	-	4.5
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) -	4.3	0.50	-	-	4.3
集合住宅以外の評価(3a.3b)		LED照明設備の採用、コージェネレーションシステム(効率化設備)の採用	4.3	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		長尺塩ビシート(内装床)、再生木デッキ材(外床)、岩綿吸音板(内装天井)	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上げ材の構成を採用し 再利用可能OA7P7も採用している	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.0	0.20	-	-	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		PRTR法の対象物質を含有しない建材種別が1つある	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		炭酸ガス現場発泡材を使用する。ODP=0、GWP100年値=1.0	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		地表面対策比率:56.95% 隣棟間隔指標Rw:0.74	4.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		駐輪場、駐車場及び管理用駐車場(車いす用及び送迎バス)を確保し、送迎バスの運行を実施	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.50	-	-	
2 振動			3.0	0.50	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	